

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		開講キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育原理					授業形態	講義		
科目コード	750116	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	西田 雅美							ICT活用	○
授業概要	<p>本授業の目的は、保育とは何か、その基本について理解することである。子どもは社会全体で育てていかなければならない存在であり、そのために必要なことや保育の営みについての基本を学ぶ。また、保育の役割、歴史、制度など、保育に関わる基本的事項について学ぶ。さらに、子どもの発達過程や保育の内容、環境、方法など、保育者として身につけておくべき保育の内容について理解を深めていく。そのために授業では、保育所保育指針の内容を中心に保育の基本について学ぶ。</p>								
関連する科目	履修後は「保育者論」を受講することが望ましい。								
授業の進め方と方法	授業計画の内容に沿った講義を行う。授業の中ではグループワークや保育実践等を行い、保育に関する理解につなげていく。また、理解度確認のための振り返りテストを実施する。								
授業計画【第1回】	<p>授業概要の説明および保育の理念と概念 授業の進め方について説明を行った後、保育の理念や概念について解説し、保育の成り立ちやその仕組みについて学ぶ。</p>								
授業計画【第2回】	<p>保育の社会的役割と責任 保育所に求められる社会的責任について学び、保育が果たす社会的意義や役割について理解を深める。</p>								
授業計画【第3回】	<p>子ども・子育て支援新制度と保育にかかわる関係法令 子ども・子育て支援新制度を中心に、多様な保育・子育て支援と関連法令について学ぶ。</p>								
授業計画【第4回】	<p>保育の実施体系 保育施設の設置や運営基準、保育施設を利用する際の申請や使用の手続きについて学ぶ。</p>								
授業計画【第5回】	<p>保育所保育指針に基づく保育 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」について、その内容や制度的位置づけについて学ぶ。</p>								
授業計画【第6回】	<p>保育の目標と方法 保育の目標と方法について、保育所保育指針を手がかりに学ぶ。</p>								
授業計画【第7回】	<p>乳児の保育 乳児の発達過程や保育の方法を踏まえ、保育所保育指針における乳児保育の内容について学ぶ。</p>								
授業計画【第8回】	<p>1歳以上3歳未満児の保育 1・2歳児の発達過程や保育の方法を踏まえ、保育所保育指針における1歳以上3歳未満児の保育の内容について学ぶ。</p>								
授業計画【第9回】	<p>3歳以上児の保育 3歳以上児の発達過程や保育の方法を踏まえ、保育所保育指針における3歳以上児の保育の内容について学ぶ。</p>								
授業計画【第10回】	<p>子ども理解に基づく保育の過程（理論編） 保育者が行う保育の過程について学ぶ。</p>								

授業計画 【第11回】	子ども理解に基づく保育の過程（実践編） 保育の過程の理論的なことを踏まえた実践的な内容について学ぶ。
授業計画 【第12回】	諸外国の保育の思想と歴史 諸外国の保育の思想と歴史について学ぶ。
授業計画 【第13回】	日本の保育の思想と歴史 日本の教育の思想と歴史、子育ての思想、施設保育の始まりについて学ぶ。
授業計画 【第14回】	諸外国の保育の現状と課題 諸外国の保育の現状と課題について学ぶ。
授業計画 【第15回】	日本の保育の現状と課題 日本の保育の現状と課題、よりより保育制度の改革について考え、全体の総括を行う。
授業の到達目標	1. 保育の意義や基本的な考え方を理解する 2. 保育の目標、ねらい、内容、方法、計画についての基本を理解する 3. 保育の思想、歴史を学び、現代の保育制度について理解する
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	授業計画の該当回の範囲のテキストを事前に熟読し、授業内容を把握する。(30分程度) 保育所保育指針の理解に努める(30分程度)
授業時間外学習【復習】	授業内容を振り返り、テキスト・資料等を活用し授業内容を各自でまとめ、内容の定着を図る。(40分程度)
課題に対する フィードバック	振り返りテストは実施後、解説する。 定期試験は試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 最終試験(50点) 2) 学習態度・意欲(30点) 3) ミニテスト・課題提出(20点)
テキスト	『新基本保育シリーズ①「保育原理」』 公益財団法人児童育成協会監修 中央法規 『平成29年度告示「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」』 <原本> チャイルド本社 その他、適宜資料を配布する
参考書	『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編 フレーベル館
備考	